

## 出品規定

下記よりご希望の部門をお選びください。

部門	出品資格	作品課題	用具	用紙寸法 (単位:約cm)	褒賞	出品料	表装・表装料	返送梱包料 作品1点につき
審査員部	展覧会 一般部審査員	自由		100×100以内 (外寸)	-	18,150円	額装または軸装で搬入 (実費斡旋有)	1,650円
自運創作部	出品委嘱 師範	自由 (参考文A) 月天心 (参考文B) 東海の (参考文C) 朝日影	市販の 筆記具	90×40 A3判 42×29.7	特別賞 準特別賞 奨励賞 参展賞	10,280円	①貸額 6,600円 ②パネル表装布 7,220円 ③買取額(アルミ枠) 20,500円	①貸額 660円 ②パネル表装布 1,650円 ③買取額 1,650円
臨書部	出品委嘱 師範	自由 (古典・古筆の臨書)						
規定部	1部	<規定部> 四段~準師範	課題D 郊外に来て 課題E 子供の絵 ※縦書き横書きのいづれか		68×26		8,470円	※①~③のいづれか をお選びください。 仕上がり寸法は下記 をご覧ください。
	2部	準初段~三段	課題F どんよりと 課題G 夢はいつも	ボールペン つけペン	B 4 判 36.4×25.7		6,050円	<貸額> 2,000円
	3部	4級~1級	課題H 春の、田舎の 課題I あのうみは	万年筆	A 4 判 29.7×21.0		4,840円	660円
	4部	新規~5級	課題J 一ところ 課題K しづかに	デスクペン ※いづれか 自由	B 5 判 25.7×18.2		4,470円	440円
漢字部	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文L) 銀臺金闕		B 5 判 25.7×18.2		4,470円	
	2部	新規~1級	自由 (参考文M) 一字千金		A 5 判 21.0×14.8		3,630円	
かな部	1部	<かな部> 初段~師範	自由 (参考文N) 撫子の		B 5 判 25.7×18.2		4,470円	
	2部	4級~準初段	自由 (参考文O) 春蘭や		A 5 判 21.0×14.8		3,630円	
	3部	新規~5級	自由 (参考文P) 此道や		競書用紙B 14.8×10		3,380円	
手紙文部	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文Q) 暑中お見舞い (参考文R) 例年になく ※用紙は縦使用 作品は台紙に貼り付け出品	自由 ※インクは 黒または青	市販の便箋 (B5程度) または それに準ずるもの1~2枚		5,440円	660円
	2部	新規~1級	自由 (参考文S) この度は		市販の葉書 14.8×10		3,380円	440円
筆ペン部	1部	<筆ペン部> 推薦~師範	課題T したり ※用紙は縦使用	筆ペン	B 5 判 25.7×18.2		4,470円	
	2部	準初段~五段	課題U 松原遠く		B 5 判 25.7×18.2		4,470円	
	3部	新規~1級	課題V 雪とけて		A 5 判 21.0×14.8		3,630円	
通信教育部		課題W 落つるなり	規定部と 同じ	ハガキ判 14.8×10			3,380円	
自由作品部	段級位 問わず	自由 ※文字表現を主体とする	自由	B4以内 (36.4×25.7)	会長奨励賞 デザイン賞他	4,470円		660円

※ 自運創作部・臨書部・規定部1部の仕上がり寸法(A3除く)は以下の通りです。パネル表装は90×40cm, 貸額は90×45cm, 買取額は90×45cmの寸法で、表装会社が適切なサイズを選択します。

## 第89回 全日本ペン書道展 作品公募のご案内

会期 2026年8月1日(土)~8月3日(月)  
時間 午前10時~午後4時  
会場 東京都立産業貿易センター台東館  
(〒111-0033 東京都台東区花川戸2-6-5)  
主催 日本ペン習字研究会 共催 日本書道学院  
後援 文部科学省・中国大使館・一般財団法人日本書写技能検定協会

### 【出品方法】

「ペンの光」購読者は、2026年2月号までに取得された段級位を元に、部門を選んでご出品ください。ペンの光誌の段級位をお持ちでない方は、規定4部・漢字2部・かな3部・手紙文2部・筆ペン3部・自由作品部の中からご出品ください。複数部門に出品できますが、1部門1作品となります。作品課題は「ペンの光」2月号26ページから38ページおよびホームページに掲載しています。用具、用紙寸法、出品料等は次ページの出品規定をご覧ください。

### 【作品受付】

提出期間 2026年4月20日(月)~5月8日(金)必着

- ・作品は書き上げたまま、表装をせずにお送りください(審査員は除く)。
- ・出品票は「ペンの光」2月号・3月号・4月号・5月号の巻末およびホームページに掲載します。作品1点につき、出品目録・出品票・原稿票を同封してください。コピーも可です。
- ・出品料・表装料は審査終了後、審査結果通知とともに事務局より団体代表者または個人出品者宛に明細書付きの郵便振替用紙をお送りいたします。ご確認の上、ご送金ください。7月初旬までに上記書類が送付されていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- ・支部登録を行っている個人出品者並びに団体出品の請求は、7月8日(水)発行予定のお取引明細書にてご確認ください。

### 【出品先・搬入先】

〒162-8717 東京都新宿区早稲田町5-4 日本ペン習字研究会展覧会係

(宅配便利用の場合は、〒162-0042とご記入ください。)

※搬入の場合には、期間中の平日10:00~17:00までにお越しください。到着確認は承っておりません。宅配便、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。

### 【結果発表】

審査結果は6月中旬にホームページで発表し、2026年6月末~7月初旬に結果通知をお送りいたします。支部・団体出品の場合には、代表者に全員分の結果通知を送付します。

「ペンの光」10月号(特集号)にて結果発表、上位受賞作品を掲載いたします。

### 【表彰】

2026年8月2日(日) 授賞式・祝賀会を開催いたします。賞状・賞品または賞状が授与されます。結果通知とともにお申し込み方法をご案内いたします。授賞式での受賞対象は特別賞・準特別賞・奨励賞・参展賞・会長奨励賞・師範会賞・研究会賞・優秀会員賞・特選です。賞状・賞品(参展賞賞状のみ授与)が授与されます。(複数部門で受賞対象となった場合、表彰は1部門のみとなります。優秀会員賞を除く) 金賞、銀賞、秀作は会期終了後に賞状を送付いたします。

### 【作品返却】

会期終了後に順次ご返送いたします。支部・団体でご出品された場合もお作品は出品者個人宛にご返送となります。複数部門に出品された作品は部門ごとの返送の為、到着時期が異なります。出品時のご住所から転居された場合は、事務局までご連絡ください。

### 【問合先】

日本ペン習字研究会展覧会係

電話 03-5273-7610 ※土・日・祝を除く午前10:00~17:00

FAX 03-5273-7615 Eメール jimukyoku@gakubun.co.jp

## 規定1部

- 書体（楷・行・草）は自由です。変体仮名の使用は避けてください。

## 規定2部～規定4部・筆ペン1部～3部

- 書体（楷・行・草）体裁ともに課題手本にしたがってください。2種類あるものはどちらかお好きなものを選んでください。

## 漢字部・かな部・手紙文部

- 題材をご自身でお選びになる場合は「参考文」の注意書きにしたがってください。
- 用紙は縦使用。

## 通信教育部

- がくぶん「ボールペン習字講座」「総合ペン習字講座」受講生および修了生対象。書体（楷書）体裁ともに課題手本にしたがってください。
- 用紙は縦使用。

## 自由作品部

- 出品資格・段級位を問いません。どなたでも出品可能。
- 用具は市販の筆記具とあわせて、筆記具以外のものもご使用いただけます。（ブラシ、刷毛、竹ペン、ガラスペン、割り箸等も可）

## 団体出品

### 出品について

- 団体出品希望の支部長先生並びに団体は『団体出品規定』を展覧会係宛にご請求ください。前回展団体出品支部には1月下旬に郵送予定です。
- 結果通知、出品料のご請求、授賞式案内等各種書類は支部・団体代表者宛に送付いたします。
- 「団体出品目録」に必要事項をご記入の上、取りまとめた作品に同封してください。
- 支部または団体による団体出品は出品作品1点から受けます。
- 「団体出品目録」が未提出の場合は個人出品者扱いとなりますのでご注意ください。

### 団体奨励賞

- 一般の部、児童・生徒の部ともに支部または団体で、特に出品に協力されたところには団体優秀賞および団体賞を贈ります。（団体優秀賞 一般部出品点数70点以上、児童・生徒の部出品点数85点以上／団体賞 一般部出品点数30点以上、児童・生徒の部出品点数50点以上）

## 展示

出品作品は全て壁面展示いたします。（審査対象外となった作品は除く）

## 日程

- ◆審査 6月6日（土）※審査は展覧会審査員のうち本年度当番審査員により行います。
- ◆児童・生徒の部授賞式 8月2日（日）東京都立産業貿易センター台東館
- ◆一般の部授賞式 8月2日（日）東京都立産業貿易センター台東館  
祝賀会 8月2日（日）午後5時～午後6時30分終了予定  
浅草ビューホテル（〒111-8765 東京都台東区西浅草3-17-1）  
〔授賞式・祝賀会参加費 13,500円〕

## 出品詳細

### 共通事項

- 用紙寸法は各部の指定寸法にしたがってください。
- 用紙の厚さの指定は特にありませんが、極端に厚いもの・薄いもの・書道用紙（半紙・画仙紙の類）は避けてください。用紙の重ね貼り、表装指示はご遠慮ください。
- 加熱により変質する用紙・インクは使用しないでください。
- 小紙を貼り合わせる場合、1枚につき500円の追加料金を加算します。
- 作品受付前、輸送途中の紛失・破損については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 作品受付後、作品の取扱いには十分注意いたしますが、不可抗力により生じた作品・額の破損や汚損には責任を負いかねますのでご了承ください。
- 受付済みの作品の取り下げは応じかねます。
- 返送梱包料の割引、免除等はいたしません。
- 文部科学大臣賞・中国大使館賞・三上秋果賞・日本書写技能検定協会理事長賞・新聞社賞・奥田潜菴賞受賞作品は木枠の買取額に変更させていただきます。金額はアルミ枠同様です。
- 応募作品の著作権は作者（出品者）に帰属するものとします。ただし、展示および作品集、広報宣伝（※1）の使用権は主催者に帰属します。

※1 最高賞受賞作品は後進指導用手本として使用させていただくことがあります。

- 4部門以上出品の方は優秀会員賞の受賞対象となります。
- 作品課題〔参考文〕…自由に選文できます。参考文をお書きになつても構いません。

〔課題〕…書体、体裁ともに課題手本にしたがってください。

- 応募作品は著作権、版権に抵触しないようにご配慮ください。万一問題が起きた場合は、責任を負いかねますのでご了承ください。

※著作権の原則的保護期間は、著作者が著作物を創造した時点から、死後70年まで。思想や感情が創作物的に表現されていれば、新聞署名コラム記事も著作物扱いとなります。

### 審査員部

- 審査員部作品に加え自由作品部に賛助出品できます。
- 用具は市販されている筆記具（筆ペン含む）をお使いください。（小筆使用不可、自由作品部は筆記具自由）
- 自額の場合、ガラスは使用しないでください。
- 不出品の際は協賛費として2万2千円をお納めいただきます。納入のない場合、審査員の資格を失います。
- 作品の差し替え、貼り替え等は別途代金を加算して請求いたします。
- 著作権、版権に留意してください。（上記共通事項参照）

### 自運創作部・臨書部

- 規定部・かな部・筆ペン部師範が出品対象です。
- 用紙寸法は最大90×40cmを厳守してください。但し90×40cmの用紙で出品の場合、パネル表装ではマットがでませんので、ご了承ください。
- 用具は市販されている筆記具（筆ペン含む）をお使いください。（小筆使用不可）
- 臨書作品は原本原帖のコピーと釈文を添付してください。